

## 全般的な注意：実験試験

2017年7月18日

実験試験は5時間の間行われ、合計20ポイントになります。

### 試験の前に

- 試験開始の合図の前に、問題の入っている封筒を開けてはいけません。
- 試験の開始と終了は、音による合図で行われます。1時間が経つごとに経過時間の告知が行われます。さらに、試験終了の15分前にも告知を行います（試験終了時には音による合図があります）。

### 試験の最中

- 解答を書くために、専用の解答用紙が提供されます。問題に対応する解答用紙の適切な表や枠、グラフに書きなさい。詳細な作業が出来るように問題ごとにワークシートがあります。あなたが現在取り組んでいる問題に対応した解答用紙を使いなさい（用紙上部の問題番号を確認すること）。もし、すでに用紙に書いてしまったものを採点してほしくない場合は、その個所に「×」印をつけなさい。どのページも表側だけを使用しなさい。それぞれのワークシートや解答用紙の指定された枠に学生コード(student code)を書くことを忘れないように。学生コードの書き込まれていないワークシートや解答用紙は評価されません。
- 答えを書くときは、数式や論理演算、図を用いて、出来るだけ簡潔にしてください。長文の使用は避けること。
- 明示的に求められない限り誤差の計算は必要ではありません。しかし、数値に言及するときは適切な桁の有効数字で答える必要があります。また特に指示が無い限り、適切な測定回数やデータ点の数を自分で判断する必要があります。
- 問題文の前の部分を解かずに後の部分を解くことが出来る場合があります。
- 許可なく試験場から出てはいけません。あなたが援助（飲料水が欲しい、計算機が壊れた、トイレに行きたいなど）を必要とするならば、3つの旗（"Refill my water bottle, please", "I need to go to the toilet, please", その他の場合は"I need help, please", ）のうちの1つを振って、監督の注意をひいて知らせなさい。

### 試験終了時

- 試験が終了したらすぐに書くのをやめなさい。
- 問題ごとに、用紙を、問題用紙、解答用紙、ワークシートの順に並べなさい。
- **E1（実験問題 No.1）で偏向図を記録するのに用いた方眼紙を同封する必要があります。あなたの学生コードと溶液の濃度が、用いた方眼紙にも書いてあることを確認しなさい。**
- 用いたそれぞれのワークシートの下部に、**ページ数とページの総数**を書かなければなりません。
- 一つの問題に対する用紙はすべて同じ封筒に入れること。「全般的な注意」は残りの別の封筒に入れること。残りの封筒が利用できない場合、未使用の用紙は封筒に入れず提出すること。試験場からどの用紙も持ち出してはいけません。
- 筆記用具（もし提供のあったものがあれば）と計算機は実験テーブルの上に残しておきなさい。
- 封筒とすべての必要な器材が集められるまで、自分の席で待ちなさい。すべての封筒と器材が回収されると、ガイドが試験場の外へ誘導します。水のペットボトルと軽食の残りを持って出るのを忘れないように。